

新たな防災気象情報に対応した合同防災訓練を実施！

～大規模災害に備え、関係機関と連携した防災対応を確認・共有しました～

国土交通省松本砂防事務所では、地域の安全・安心確保のため管内の関係行政機関とともに土砂災害発生時に対し迅速な対応が行えるよう、毎年、合同防災訓練を実施しています。令和8年度は松本市において、令和8年5月29日より運用開始となった「新たな防災気象情報」の警戒レベルごとの各機関の対応を確認しながら、豪雨による土砂災害・洪水に備え、避難や道路の応急復旧における関係機関の連携などの対応について訓練を実施しました。

日 時：令和8年6月30日（火）13：30～16：30
 参加機関：松本市、松本市消防団、長野県、松本広域消防局、
 長野地方気象台、北陸地方整備局、松本砂防事務所 計44名
 ※一部機関はリモートにて参加
 メイン会場：長野県松本合同庁舎 2階 講堂
 訓練方式：学習型訓練
 災害想定：梅雨前線の停滞による豪雨と、豪雨の影響により松本市の各所で土砂災害・洪水が発生することを想定

訓練状況



メイン会場（全景）



メイン会場

リモート参加



メイン会場

全体講評

（松本大学 総合経営学部 入江さやか 教授）



松本大学 入江さやか 教授

大規模な災害が想定される場合、SNS等で誤った情報が拡散されやすくなっている。最新の正確な情報を各機関が連携して、住民、観光客、訪日外国人に伝える情報発信が重要。

松本市副市長のコメント

国や県と情報共有しながら他機関がどのような対応をするのか、実際にリアルタイムで分かったことが一番の成果となった。市民の安全につながることで、訓練に参加して良かった。



松本市 伊佐裕子 副市長

参加職員によるふりかえり



警戒レベルごとの他機関の対応について参考になった。本訓練結果を踏まえ、関係機関との連携など災害時の対応に活かしたい。